

<第5回 日本禁煙科学会 学術総会（徳島）>

【報告】 県民公開講座（1）歯科分科会

歯医者さんから学ぶ 防煙のすすめ

基調講演：岡崎 好秀（岡山大学附属病院小児歯科・講師）

講演：幸田 直彦（徳島市歯科医師会・会長）

コメンテーター：王 宝禮（大阪歯科大学歯科医学教育開発室・教授）

座長：竹田 信也（徳島県歯科医師会・副会長）

日野出 大輔（徳島大学大学院HBS研究部口腔保健衛生学分野・教授）

本大会では徳島県歯科医師会が中心となり、県民公開講座①を開催しました。これは、喫煙による健康被害や防煙の大切さについて、歯科医師による講話から「わかりやすく」、そして「楽しく」学ぶ機会を県民の方々や医療・教育関係者へ提供し、参加者の口腔保健への関心を高めていただくことを目的として企画したものです。



当日は、一般県民の方々や医療関係者、教育者ならびに歯科医療系学生を含め、会場の約120席が満員となる盛況でした。

基調講演では岡山大学の岡崎先生より「なるほど ザ防煙教育」と題するお話しをいただきました。まさに、「目から鱗」のお話しの連続で、会場から笑いの声上がるかと思えば、参加者自身も「北風型」と「太陽型」のどちらの防煙教育を進めるべきなのか、深く考えさせられました。あっという間の40分ではありましたが、本当に深く心に残る講演でした。

続いての講演では、徳島市歯科医師会会長の幸田先生より、地域歯科医療に携わり、また歯周病専門歯科医の立場から、「タバコ・歯周病から健康な生活の獲得へ」と題する講演をいただきました。タバコに起因する歯周病や歯肉メラニン色素



沈着に加え、抜歯やインプラント歯科治療の予後不良、更には歯周病を介した全身疾患（糖尿病・心臓血管疾患）まで、喫煙による健康障害と定期的な歯科医院受診の必要性などを判りやすく説明いただきました。

最後に、会場を交えた全体討論を行いました。講演をいただいた2人の講師に対して、会場の参加者から、家族の禁煙支援など身近な相談や低体重児早産と歯周病・喫煙との関連性など学術的な疑問点などについて質問がありました。また、本県民公開講座の総括として、歯科分科会会長の王先生より、歯科からの禁煙支援について歯科医療従事者育成の場や歯科医療の場へより一層深く発信していく重要性を説明していただきました。



座長まとめとして、竹田からは徳島県において歯科医師会を含めた歯科医療従事者の今後の禁煙支援に対する更なる展開に対して県民への協力を呼びかけ、そして日野出からは本日得た知識を1つでも実践へ結びつけて欲しいと参加者へお願いして閉会しました。今回の盛り上がり、次年度の開催地の沖縄へ受け継がれていくことを期待したいと思います。

（文責：竹田信也・日野出大輔）